

事務事業名		盛中央線改良事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input checked="" type="checkbox"/> 合併建設計画掲載事業				
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目				
	施策名	良好な生活空間の創造				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	生活道路の整備				01	08	02	03	23
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) ↓ 平成21年度 ~ 平成23年度 全体計画欄の総投入量を記入						
所属	部課名	都市整備部建設課								
	係名	土木係	電話	0192-27-3111						
			内線	316						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ)				
市道盛中央線は、盛町を縦断する道路で、昭和40年代に整備がなされ現在に至っている。 当該地域は、住民の高齢化が進行するとともに、老人福祉施設、介護支援センターが立地するなど、生活弱者対策が急務となっている。このため、街づくりの視点からも、バリアフリーに対応した環境整備が必要不可欠となっている。 改良整備は、延長885mとし、平成21年度には測量設計業務を行い、一部工事施工(1工区及び2工区)については、繰越となった。 平成22年度は、補償業務及び工事施工(H21繰越(改良舗装665m(1工区480m・2工区185m)))を行う。 事業費は、委託料、補償費、工事費、事務費として支出される。						総投入量(千円)	事業費	国庫支出金	84,183	
							事業費	都道府県支出金		
							事業費	地方債	59,500	
							事業費	その他		
							事業費	一般財源	3,179	
							事業費	事業費計(A)	146,862	
人件費	正規職員従事人数	2								
人件費	延べ業務時間	1,090								
人件費	人件費計(B)	4,360								
						トータルコスト(A)+(B)	151,222			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 測量設計業務 L=660m  今年度計画(今年度に計画している主な活動) 平成21年度繰越分:補償業務(建物・立木等)、工事施工(改良665m・舗装665m)	→	名称	単位
		ア 施工延長	m
		イ 整備率(計画区間改良済延長/計画総延長)	%
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市道盛中央線(町~権現堂間) 市道利用者	→	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		カ 計画総延長	m
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) (市道が)バリアフリー化(車道と歩道の段差が解消)される (市道利用者に)より安全に利用してもらう	→	キ 主たる利用者数(県立病院利用者)	人/日
		ク	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安全で快適に移動できる	→	名称	単位
		サ バリアフリー化された供用開始延長	m
		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

	単位	年度						
		17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(目標)	
事業費	国庫支出金	千円					17,880	54,303
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円					17,600	34,300
	その他	千円						
	一般財源	千円					862	1,907
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0	36,342	90,510
人件費	正規職員従事人数	人					2	2
	延べ業務時間	時間					545	545
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	2,180	2,180
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	0	38,522	92,690
活動指標	ア	m					0	665
	イ	%					0	75.1
	ウ							
対象指標	カ	m					885	885
	キ	人/日					800	800
	ク							
成果指標	サ	m					0	665
	シ							
	ス							

事務事業ID	1385	事務事業名	盛中央線改良事業
--------	------	-------	----------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 地域住民及び商店街から歩車道の段差解消を求める要望があったため、平成21年度から事業を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 地域の積極的な協力がある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 地域から早期完成を強く要望されている。	

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性  この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] バリアフリーに対応した改良整備を行うことで、より安全に利用できるようになり、都市環境の向上につながる。
	公共関与の妥当性  なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] 公共施設の道路整備は行政が行うことが妥当である。
	対象・意図の妥当性  対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] この事業により、歩道と車道との段差が解消され、利用者が安全に利用できるようになるため、適切である。
有効性 評価	成果の向上余地  成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] バリアフリー化された供用開始延長となっていることから、これ以上の成果向上余地が認められない
	廃止・休止の成果への影響  事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] 歩車道の段差解消が図られないため、安全で快適に移動できない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性  目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある  (具体的な手段、事務事業)  <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] 個別事業であり、他に手段はない。  <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地  成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地  やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] 必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地  事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由]  3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] 一般に供する道路であることから、受益者負担になじまない。

事務事業ID	1385	事務事業名	盛中央線改良事業
--------	------	-------	----------

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地元商店街との協議に不測の日数を要したため、下記事業について平成22年度に繰越した 事業費:90,510千円 事業内容:一部工事施工((1工区):改良480m 舗装480m、(2工区):改良185m 舗装185m)											
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 ) (上記方向性に対する具体的な内容) 平成23年度完了に向け、事業を推進する。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×		低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																								

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	建設課長	
-------	------	--

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																								
記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																								
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																						
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地元商店街との協議に不測の日数を要したため、下記事業について平成22年度に繰越した 事業費:90,510千円 事業内容:一部工事施工((1工区):改良480m 舗装480m、(2工区):改良185m 舗装185m)											
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 ) (上記方向性に対する具体的な内容) 平成23年度完了に向け、事業を推進する。		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×		低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			×																				
	低下		×	×																				

### 5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
---------------------